

	環境教育学専攻		専攻選択科目		
生活環境論 Lifestyles, environmental politics and civic engagements	1年	後期	2単位	選択	講義
	担当者(部屋番号)				
	藤 公晴 (751)				
【 授 業 目 標 】					
<p>本講座では、人間の生活の様相を切り口に環境問題とそれらへの取組みに関する学識を高めることを主目的としており、それを達成するために、次の3つの分野に関する造詣を深めることを目標とする。1) 国際政治文書や白書で論じられている私たちの生活環境の様相；2) 青森県内の水、食、ゴミ、エネルギーの分野にかかる市民らの各種実践；3) 生命地域主義や生活環境主義といった、生活に着目した環境思想や主義の考え方。以上の「政策-実践-理論」の相関・接点について、受講生やインストラクターと討議を重ねながら、体系化・文章化するといったアプローチを通して、受講生それぞれの学識を高めることを目指す。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>講義の基本的方針として、インストラクターによる知識伝達型でなく、受講生による積極的な参画を重視する形式をとるため、週ごとのリーディング課題を確実に読むことが不可欠。第4-6回と第7-8回、第9-13回はそれぞれ集中講義の形式をとるため、講義初日に日程の調整を行う。学期最後には、青森市浅虫地区の生活環境と住民の取組みをテーマにしたレポートの執筆・提出が求められる。</p>					
【 授 業 計 画 】					
<p>1 概要説明：シラバス説明と人類学的視点からみた生活環境</p> <p>2 国際政治文書における環境問題と私たちの生活</p> <p>3 国内政治文書や白書などにおける環境問題と私たちの生活 2</p> <p>4</p> <p> 青森県における生活環境と各種取り組み 1 (日程は後日調整)</p> <p>6</p> <p>7 環境思想における「生活」の位置づけ：生活環境論と生命地域主義から</p> <p>8 環境思想における「生活」の位置づけ：生活環境論と生命地域主義から 2</p> <p>9</p> <p> </p> <p> ケーススタディ：青森市浅虫地区の生活環境と住民の取組み</p> <p> </p> <p>13</p> <p>14 ディスカッション</p> <p>15 まとめ(調整日)</p>					
教科書	数多くの図書や論文を使用するため、データ・コピーを配布する。		評価方法	出席状況、講義での討論、レポートにより総合的に評価する。詳細は講義第一日目に説明する。	
参考書	特に指定しない		留意点	講義の前半3回、後半2回分は指定された日時に講義を実施するが、4-6回、7-8回、9-13回は日程調整の上、集中講座形式で実施。	